

【標準仕様書】 地域医療ネットワークシステム

No	機能			要求仕様	備考			
	カテゴリ	大分類	中分類			小分類		
1	基本要件	基本方針			地域医療ネットワークシステムは、地域内の医療機関、調剤薬局、在宅・介護施設等の連携を促進するために、当院が保有する医療情報システム等に格納されている診療情報を共有化し、またその連携を促進する機能により構築されるものとする。			
2					地域医療ネットワークシステムは、当院以外の診療情報を公開する医療機関(以下、「情報提供病院」という)の医療情報システム等に格納されている診療情報を共有化し、連携する地域医療機関が、複数の情報提供医療機関の診療情報を一画面上で把握することが可能な、N対N連携への拡張性を有すること。N対N連携へ拡張した際には、当院も情報提供病院のシステムに接続する。			
3					本システムを導入した医療機関が施設基準の届け出を行うことで、「検査・画像情報提供加算」および、「電子的情報評価料」の算定が可能になるシステムであること。			
4					構築にあたっては、他地域で稼働実績のあるパッケージソフトをベースとし、以下に記載の要件に沿って構築されるものとする。			
5					概要			地域医療ネットワークシステムは、当院に設置されるゲートウェイサーバ、データセンターに設置される中継センターサーバ機能により構成されること。
6					データセンター機能			データセンター設置の中継センターサーバ機能では、本業務によるネットワーク利用者の利用者情報、患者情報公開範囲制御などセキュリティ情報を管理することを基本機能とする。
7								当院にはゲートウェイサーバを設置し、中継センターサーバからの問い合わせにより参照施設に必要な情報を提供できること。
8								当院の電子カルテシステムと連携し、参照可能なビューを提供すること。
9					参照施設			参照施設は、データセンターを介して当院の診療情報や画像情報を参照する医療機関とする。
10								参照施設は、インターネット環境に接続するパソコンから、当院の診療情報参照や、各種サービスの利用ができること。
11					ガイドライン等			本業務では患者情報の安全を適切に担保するとともに将来の機能拡張に対応すべく、以下の標準規格及びガイドラインに適合していること。
12					標準規格			標準規格・患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書第一版(日本HL7協会)・厚生労働省標準規格に基づく標準マスター・医療におけるデジタル画像と通信(DICOM)・厚生労働省電子的診療情報交換推進事業(SS-MTX)
13					ガイドライン			ガイドライン・「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」(厚生労働省)・「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(厚生労働省)・「ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン」(総務省)・「ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン」(総務省)・「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン」(経済産業省)
14					ネットワークセキュリティ			地域連携データセンター、当院、参照施設間の通信環境については「診療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(厚生労働省)への対応から、IPSec-IKEを採用したセキュアな技術を採用すること。
15	基本機能	共通	共通	共通	地域医療ネットワークシステムの基本機能は、以下に示す要件を満たすこと。			
16	利用者認証	認証	ID,Pass	医療機関コード、利用者ID、パスワードを利用して、利用者の認証機能を提供可能なこと。				
17			HPKI	HPKI認証により、利用者の認証を提供可能なこと。				
18	診療情報参照	基本画面	基本画面	診療情報参照機能について以下の機能を有すること。				
19				診療情報の表示について、登録された医療従事者から表示要求があり、資格照合の結果、表示可能な場合は、患者のレジストリ情報に基づき、登録先に複数のゲートウェイサーバから診療情報を取得・集約して表示できること。				
20				取得、集約した情報はまず情報種別毎にアイコン化して、情報種別と日付のマトリクス(以下イベントビュー)上にプロットすること。				
21				イベントビューの他にも、取得、集約した情報をアイコン化し、カレンダー上にもプロットできること。(以下カルテビュー)				
22				救急や調剤薬局での運用を考慮し、情報参照する医療従事者が、情報の最新化等の特別な操作をすることなく常に最新の情報を取得・集約できること。				
23				日付の欄には、その日の診療情報が存在する医療機関が判別できるよう、医療機関毎に色分けされた帯をつけること。この帯は診療情報をもとに自動的に付与すること。				
24				イベントビューまたはカルテビュー上にプロットされたアイコンにマウスを近づけるとポップアップで「文書種別」を表示できること。				
25				イベントビューまたはカルテビュー上にプロットされたアイコンをクリックした際に、詳細な診療情報を表示すること。				
26				詳細な診療情報には、どの医療機関の情報が判別できるよう、医療機関毎に色分けされた帯をつけること。				
27				日付の欄をクリックすることで、その日の診療情報をまとめて表示できること。				
28				情報種別の欄をクリックすることで、その情報種別を日付を横断してまとめて表示できること。				
29				複数の診療科の情報が表示されているときに、特定の診療科の情報を表示・非表示にできること。				
30				「データがないか」「公開されていないか」視覚的に区別できるような表示ができること。				
31				表示させたい情報種別を絞り込めること。				
32				表示させたい情報種別は地域の事情に応じて設定可能なこと。例えば在宅医療において、訪問看護指示書を独立して1行に表示したい場合にそういった設定ができること。				
33				登録された利用者からテキストベースでの書き込み及びファイル添付ができること。登録した内容はイベントビューにアイコンとして表示されること。				
34				表示内容	共通	共通	当院の病院情報システムと連携し、以下の診療情報を表示する機能を有すること。	
35				カルテ二号紙			カルテ二号紙の内容が表示できること。	
36							オーダ情報が表示できること。	
37							シエーマの表示が可能であること。またシエーマについては拡大表示ができること。	
38							ExcelやWordで書かれた文書が表示可能であること。Excelは複数シートに記載されたものが表示できること。	
39							看護記録が表示できること。	
40							表示する内容については当院と打ち合わせをシマスタ設定を行うこと。	
41						処方	処方内容が表示できること。	
42						注射	注射内容が表示できること。	
43						検歴	各情報提供病院で開示した検体検査の結果を表示できること。	
44							検査歴の一覧から選択された検査結果を表示できること。	
45			指定項目について、時系列での表示を可能とし、数値データについては基準値(上限値、下限値)も表示できること。					
46			基準値を超えた値については、色を変えて表示すること。					
47			時系列表示したデータをグラフ表示できること。					

No	機能			要求仕様	備考				
	カテゴリ	大分類	中分類			小分類			
48				時系列	薬歴と検歴を疾患別で時系列で表示できること。				
49				病名	当院で開示した病名情報を参照できること。				
50					表示は一覧形式とし、検索期間内に登録された病名が全て表示できること。				
51					転帰済病名について検索条件に指定できること。				
52					削除病名について表示の対象外とできること。				
53					守秘病名は指定文字列を別の文字列に変換して表示できること。				
54					歯科病名の場合は、併せて該当部位の歯式を表示できること。				
55					表示内容（項目、並び順）は、マスク設定できること。				
56					サマリ	当院で公開したサマリ情報を表示できること。			
57						表示内容（項目、並び順）は、マスク設定できること。			
58			患者一覧		患者一覧	ログインした利用者が閲覧可能な患者を一覧表示できること。			
59						患者一覧は、当院の患者ID、カナ氏名、生年月日、参照期限等で検索できること。			
60						検索した条件を利用者条件として保存できること。			
61						患者一覧は、患者氏名、生年月日、性別、年齢、カナ氏名、住所、自施設の患者ID、参照可能期間、公開日時、更新日時が表示できること。			
62						患者一覧の表示内容（項目、並び順）は地域毎にマスク設定で変更できること。			
63						定期的経過を確認したい患者を、テキストメモと共にワンクリックで登録、一覧表示できること。			
64							診療情報の開示に関しては個人情報保護の観点から、患者の同意に基づき以下のような機能を有すること。		
65		診療情報公開	共通	共通	診療情報の開示に関しては個人情報保護の観点から、患者の同意に基づき以下のような機能を有すること。				
66							条件設定	当院が参照医療機関に情報を開示する際は、情報の公開範囲（病名、カルテ記載、処方、注射、検歴、サマリ、画像、レポート等）を選択、設定できること。	
67								新規情報公開時は公開先一覧より公開先を選択する機能を有すること。公開先は複数選択が可能で、病院・診療所単位、診療科単位、利用者単位で混合選択が可能なこと。	
68								同一医療機関でも診療科や利用者毎に別々の設定が行えること。例えば、調剤薬局の薬剤師に対しては画像は公開しないといった設定ができること。	
69							期間設定	参照医療機関に情報を開示する際には、開示する期間を指定できること。	
70								開示する期間については、当院のデフォルトの期間を設定できること。	
71								開示期間の終了が近づいてきた際に開示先の医療従事者がその患者の診療情報を閲覧することで、期間を自動延長できること。	
72								自動延長される期間のデフォルト値を設定できること。また必要に応じて公開設定単位で設定変更できること。	
73							公開条件の保存	公開作業を効率的に行えるよう、定型化した公開条件を予め登録しておくこと。	
74							同意書の印刷	同意書に公開条件も盛り込んだ上で患者に同意を得たい場合を考慮し、公開設定した内容で同意書を印刷できること。	
75				同意書管理	実際に設定した公開の内容と同意書を紐付けて管理できること。				
76		患者ID管理	共通	共通	将来的なN対N連携へ発展性を考慮し、複数の医療機関の異なる患者IDを地域で統合するために、地域の患者IDを各医療機関の患者IDを管理するために以下の機能を有すること。				
77							患者ID紐付け機能	情報提供病院の診療情報を開示設定する際に、自動的に地域患者IDの発番と情報提供病院の患者IDの紐付けを行うこと。意識的に地域患者の登録を行わなくとも利用可能なユーザーインターフェースであること。	
78								上記自動設定を行う際にすでに地域患者が登録されていないか患者の基本属性でチェックを行い、可能性のある患者がいる場合には確認画面がでてくること。	
79								IDの紐付けが実施されていない患者が一覧で表示され、紐付け処理を促すことができること。	
80	コミュニケーション	お知らせ機能		お知らせ画面	ログイン画面にお知らせ機能を表示する機能を有すること。全体へのお知らせ情報については未ログインでも参照できること。				
81								利用者が所属する医療機関ごとに通知事項を表示できること。	
82			患者メモ機能			お知らせ画面メンテナンス			
83									テキストにて情報登録できること。
84									ファイル添付にて画像ファイル等が登録できること。
85									文書の種別（医師のメモ、看護師のメモ）を設定できること。
86									後日入力を考慮して登録日を設定できること。
87									タイトルを登録できること。
88									メモ記載者の職種と名前が表示できること。
89									登録された情報は版数管理ができること。
90		通知		メール通知	登録された医療従事者が本地域医療ネットワークシステムにアクセスすべからるために、下記に示すイベントが発生したタイミングでメール通知できること。				
91								1.本人宛にカルテ開示されたタイミング	
92								2.本人宛に紹介状・返書されたタイミング	
93								3.本人が公開範囲に含まれるにメモが記載されたタイミング	
94								4.本人宛にメールが届いたタイミング	
95	紹介状連携	紹介状・返書作成機能	作成	作成支援	紹介状・返書作成をWEB画面で作成できること。				
96									紹介状・返書は定型文を登録でき、医療機関情報（医療機関名、診療科、医師名、住所、電話番号、FAX番号）、患者情報（氏名、生年月日、性別、住所、電話番号）を自動挿入できること。
97								HPKI	HPKIによる電子署名に対応した紹介状の作成ができる。
98								状況確認	既読、未読管理できること。
						【オプション】HPKI電子署名			

No	機能			要求仕様	備考	
	カテゴリ	大分類	中分類			小分類
99					紹介状は紹介先医師の参照操作でのみ既読となること。	
100					返書は受信施設医師の操作でのみ既読となること。	
101			宛先選択	選択画面	宛先は医療機関、診療科、医師、お気に入りごとに単一選択する機能を有すること。	
102		予約	共通	共通	医療機関間の連携をスムーズにするため、地域医療ネットワークシステム上で自由に予約枠の作成が行え、外部からネットワークを通じて診療予約及び検査予約を取得できること。	
103			予約取得	予約取得	患者や予約先を指定することなく、予約の空き状況を確認できること。	
104					参照医療機関の医師の操作性を考慮し、横軸に日付、縦軸に時間にその予約枠に対して空いている枠をワンクリックで選択できるユーザインターフェースとすること。	
105					予約を確定する前に予約内容を確認できるよう、予約票のプレビュー機能をもつこと。	
106					予約票を発行できること。	
107					参照医療機関の患者IDを指定して予約ができること。	
108					参照医療機関の利用者の患者属性入力の手間を軽減できるよう当院の患者IDを指定して予約ができること。	
109					予約取得時に紹介情報を同時に登録できること。	
110			メンテナンス	予約枠メンテナンス	予約枠をメンテナンスできること。	
111					診療予約、検査予約の区分設定ができること。	
112					日単位、週単位、曜日単位、月単位の設定ができること。	
113					休診の設定ができること。	
114					予約の締め切り日時が設定できること。	
115					予約日のN日前になると外部から取得できなくなるよう設定ができること。	
116					未来に対して現在の設定を自動複写できること。	
117					予約票は打ち合わせの上レイアウトを決定すること。	
118	運用管理	マスタメンテナ	医療機関管理	医療機関マスタメンテナ	新たな連携医療機関の追加等を行うために医療機関マスタをメンテナンスできること。	
119					参照医療機関の追加・修正・削除ができること。	
120					外部システムの医療機関マスタを流用できるよう、CSV形式のファイルからインポートできること。	
121			診療科管理	診療科マスタ (参照医療機関分) メンテナ	診療科マスタ (参照医療機関分) をメンテナンスできること。	
122					当院の診療科を地域の診療科に変換できること。	
123			利用者管理	利用者マスタ (参照医療機関分) メンテナ	利用者マスタ (診療所等) をメンテナンスできること。	
124					当院の利用者マスタをアップロードできること。	
125					権限制御	ログインしている利用者の権限に応じて、メンテナンス可能なマスタを制御できること。
126			パスワード変更	パスワード管理	パスワードの変更を利用者マスタメンテナのみで行う場合、システム管理者の負荷が増大してしまうため、各利用者が任意のタイミングで自分のパスワードを変更できること。	
127					パスワードに有効期限を設け、有効期限が近づいている場合、パスワード変更を促せること。	
128					パスワードの有効期限が切れていた場合、パスワード変更画面を自動で起動できること。	
129			職種管理	職種マスタ (参照医療機関分) メンテナ	職種マスタ (診療所等) をメンテナンスできること。	
130					職種ごとに各機能の利用可否を設定する権限設定機能をもつこと。	
131					職種マスタ変換	職種を地域で決められた職種に変換できること。
132		監査	共通	共通	セキュリティの観点及び、地域医療ネットワークシステムの利用率向上を目的に以下の機能を有すること。	
133			アクセスログ	アクセスログ検索	カルテ参照やデータ抽出のログを書き出したアクセスログを検索できること。	
134					アクセスログCSV出力	アクセスログをCSVファイルへ出力できること。
135			アクセス分析	アクセス分析	以下のアクセス分析機能を有すること。	
136					1.ログイン回数 (日別、月別、ログイン時間別、医療機関別、診療科別、利用者別)	
137					2.カルテ参照回数 (日別、月別、医療機関別、診療科別、利用者別、患者別)	
138			ジョブ監視	ジョブ監視	ジョブの監視、およびエラーログの閲覧を行う機能を有すること。	
139	インタフェース	HISインタフェース	SS-MIXまたはSS-MIX2標準化ストレージ	共通	病院情報システムの更新や将来的に新たな地域医療連携システムへの切り替え等が速やかに行われるよう、実際に連携で使用するインタフェース以外に、標準化技術を用いたインタフェース (具体的には、SS-MIXまたはSS-MIX2標準化ストレージ) を用いた連携にも対応できること。	
140		その他	利用者	利用者	病院情報システムから抽出されたCSV形式の利用者情報を取り込み、自動利用者登録ができること。	
141					パスワード管理	CSV形式で出力された利用者情報のパスワードは暗号化した形で取り込むこと。
142			病院情報システムからの呼び出し	URL連携	病院情報システムからURLにてパラメータを指定して地域医療ネットワークシステムを呼び出せること。	
143	ネットワーク	情報提供医療機関			当院及びデータセンターの外部接続ネットワークは、常時接続のVPNサービスを提供すること。	
144					ネットワークセキュリティは医療情報システムの安全管理ガイドライン第5版に準拠し、且つ今後のガイドラインの改版にも対応できること。	
145					情報提供病院とデータセンター間の接続方式としてはIPSec-VPNを用いること。	
146					当院に設置される連携ゲートウェイサーバと院内LANの間にファイアーウォールもしくは同等機能を設置し、連携ゲートウェイサーバからは必要最低限のサーバ接続とすること。その他のポートの通信は遮断すること。	
147					センターから連携ゲートウェイサーバの先の院内ネットワークへアクセスできないようにすること。	
148					院内の電子カルテ端末からの利用が可能であること。	
149	その他	開発・導入体制			開発および導入体制については以下の要件を満たすこと。	
150					本プロジェクトにて導入される製品は50以上の病院において電子カルテ情報及び画像情報を公開している実績があるものであること。	
151					システムの導入においては地域個別の要件についてカスタマイズ対応できること。	

No	機能			要求仕様	備考
	カテゴリ	大分類	中分類		
152				画面表示項目、並び順等についてはマスタ設定により、地域の実情に応じた設定ができること。	
153				導入に際しては、本プロジェクト担当者が現地で打ち合わせに参画し運用設計、マスタ設計等が行える体制でのぞむこと。	
154				今後の標準化の動向に速やかに対応できるよう、製品開発元が保健医療福祉情報システム工業会に加盟していること。	
155				今後の標準化の動向に速やかに対応できるよう、製品開発元がSS-MIX普及推進コンソーシアムに加盟していること。	
156				今後の標準化の動向に速やかに対応できるよう、製品開発元がHL7協会に加盟していること。	
157		保守・保守体制		保守および保守体制については以下の要件を満たすこと。	
158				障害発生時の連絡先を明確にし、速やかに対応されること。	
159				課題が発生し打合せが必要な場合、要請に応じて本プロジェクト担当者が現地で対応すること。	
160		データセンター		センター機能が配置されているデータセンターは、地域医療連携の事業継続性、セキュリティ等の観点から以下の内容を満たしていること。	
161				データセンターについては建物免震により建物および付帯設備が保護されていること。	
162				データセンターについてはCASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) Sランクに準拠していること	
163				データセンターの客観的評価として以下の認証を取得していること。	
164				ISO9001 (品質マネジメントシステム) を取得していること。	
165				ISO14001 (環境マネジメントシステム) を取得していること。	
166				ISO/IEC20000 (ITサービスマネジメント) を取得していること。	
167				ISO/IEC27001 (情報セキュリティ保証) を取得していること。	
168				プライバシーマークを取得していること。	
169				株式会社アイ・エス・レーティングによる情報セキュリティ格付で「AAAs」を取得していること。	
170	ハードウェア	ゲートウェイサーバ		各情報提供施設に導入するゲートウェイサーバについては以下の要件を満たすものとする。	
171				CPUの処理能力は、Intel社製 Xeon(R) プロセッサ-E5630 (2.53GHz、4コア) 相当以上とする。	
172				磁気ディスクのOSおよびアプリケーション部分はRAID1/RAID5等を利用し最適に構成されること。	
173				OSは、Microsoft社製Windows Server 2012 R2 Standard相当以上とする。	
174				GigabitのEthernetインターフェースを有すること。	